

2004年3月31日

## 明治安田生命 入社式 社長挨拶（要旨）

2004年1月に誕生した明治安田生命保険相互会社（社長 金子亮太郎）は、本日2004年3月31日（水）に、新会社発足後、初めて迎える「第一期生」となる新入職員の入社式を行ないました。

今回の入社式の運営については、2002・2003年4月入社 of 職員に対し、「新会社らしい、今までにない入社式のかたち」についてアイデアを募集し、その要望が実現したものです。具体的には、新入職員が経営トップ層と初めてコミュニケーションを図る場として、「立食パーティー形式」にて開催し、席上、新入職員の代表者が、経営トップ層に対し、自分たちが考える「理想の企業像」について提言（プレゼンテーション）を行なう予定です。

以下、入社式の実施概要と、社長挨拶（要旨）をお知らせします。

### 【2004年度 明治安田生命 入社式 実施概要】

1. 日 時            2004年3月31日（水） 18時～19時15分
2. 会 場            明治安田生命保険相互会社 本社（丸の内）7階講堂
3. 出席者           2004年4月入社 新入職員215人（全国）（人）

	総合職	特定 総合職	一般職	合 計
新入職員	97	108	10	215

※「特定総合職」は、新会社で新設した職種で、勤務地限定の総合職という位置付け。入社後は、生命保険事業の中核業務（団体保険営業・個人保険販売者支援等）を中心に担当し、一定期間経過後は、総合職に準ずる幅広い職務を担当。

4. 式次第            ・18時00分 開会  
                          ・18時10分 社長挨拶  
                          ・18時20分 新入職員決意表明  
                                  （「理想の企業像」を経営トップ層に提言）  
                          ・18時35分 乾杯・懇談  
                          ・19時15分 閉会

以上

## 社長挨拶（要旨）

### 明治安田生命の「第一期生」を心から歓迎

- 明治安田生命は、明治生命と安田生命の「歴史と伝統」を継承しながら、「新しい知恵と力」を出し合い、2004年1月1日に、日本で「一番若々しい生命保険会社」として誕生。
- 新会社の誕生は、「大手生命保険会社」同士の「相互会社形態での合併」という、世界の生命保険業史にも例を見ない「大きな挑戦」であり、数多くある企業の中から就職活動の時点では「まだ誕生していない明治安田生命」を「自分の将来を託す企業」として選ばれた皆さんを心から歓迎したい。
- 「明治安田生命の挑戦」に共感し、その中で皆さんの「自己実現」も果たしていきたいという思いで入社されたことと思うが、そうした皆さんの期待に応え、この明治安田生命を「明るく、楽しく、やり甲斐を持って働ける会社」、他のどの会社よりも「チャレンジングでエキサイティングな会社」にしていかなければならないと、社長として肝に銘じている。

### 新入職員の皆さんに期待すること

- 「日本で一番若々しい生命保険会社」——21世紀のわが国生命保険事業を先導する「若きパイオニア集団」を標榜する明治安田生命にとって一番重要なことは、文字通り「若手・中堅職員」が思う存分に活躍できる「場」を増やしていくことであり、私は、その「環境づくり」こそが幹部役職員の責任であると、幹部役職員に要請している。
- 「日本で一番若々しい生命保険会社」の「第一期生」である皆さんは、過去の成功体験や様々なしがらみにとらわれることなく、柔軟な発想ができる「若い世代」であると大いに期待している。「創造的破壊」によって「新機軸」を生み出せるのも「若い世代」であり、「新しい付加価値」を生む「知識と技術と感性」を持っているのも、言うまでもなく「若い世代」だ。
- 志をどこまでも高く掲げ、斬新な発想とチャレンジングな行動力で、「お客さまから最も信頼される生命保険会社」という目標実現の舞台に、「第一期生」として胸を張って堂々と参画していただきたい。また、生命保険事業のベースにある相互扶助、人間愛の精神を思い抱いて仕事に取り組んでもらいたい。
- 「お客さまから最も信頼される明治安田生命」実現に向かって、共に頑張っていこう。

以上